



200海里の森づくり



令和6年9月7日（土）に、福岡市民の皆さんと一緒に、筑後川上流水源地域である日田市中津江村を訪ね、大川市民や地元中津江村の皆さんと、森林の手入れ（下草刈り）や昼食交流会を行う交流イベントを実施しました！

中津江村ってどんなところ？



中津江村は周囲を山に囲まれ、自然豊かな村です。2002年に開催されたサッカー日韓ワールドカップの際、カメルーン代表のキャンプ地となったことは、全国で有名になりました。実際にカメルーン代表が使ったグラウンドがある鯛生スポーツセンターや、砂金採り体験などができる鯛生金山などのレジャースポットもあり、また、中津江村の豊かな自然が育てた四季折々の農産物は、とても美味しく新鮮です。

そんな中津江村を流れる津江川・鯛生川は下流の筑後川に流れ込み、筑後川から多くの水をいただいている福岡市にとっては、大切な水源地の一つです。

下笠ダムは、津江川に洪水調整・発電を行う多目的ダムとして建設され、昭和48年に完成した、アーチ式コンクリートダムです。ダム湖名は「蜂の巣湖」。

←写真(上:放流中の下笠ダム、下:蜂の巣湖)



下草刈りって何？

植えたばかりの小さな樹木は、雑草などに覆われると十分な太陽の光を浴びることができず生長不良になり、ついには枯れてしまいます。そこで、樹木が健康に育つよう、周囲の雑草を刈り取ります。この作業を「下草刈り」といい、植え付けから5年～10年程度行う必要があります。



【スケジュール】水道局発 → 下草刈り作業 → 昼食交流会 → 「鯛生金山」でお買い物・ゴールドハンティング → 水道局着・解散

★まずはみんなで準備運動★



★先生から草刈りのレクチャー★



自分の背より伸びた雑草や暑さに苦戦しながらも、みなさんどんどん刈っていきます。参加者からは、体を久々に動かしたとていい運動になった、もっと草刈りがしたかったとの声があり、充実された様子でした。



最後は、鯛生金山の
ゴールドハンティングで一攫千金（笑）



★BBQを食べながら交流会★



～参加者の方からのご感想～

- ・初めて大鎌を使えて面白かった。
- ・BBQでは大川や地元の人と楽しく交流が出来て楽しかった。
- ・交流会で栗や野菜が買えて嬉しかった。
- ・林業をされている方の苦労が身に染みてわかった。
- ・10数年ぶりの参加であったが、植樹された木が成長していて嬉しかった。

以上、実施レポートでした！